平成29年度伝統芸能を活用した大阪の魅力開発促進のためのモデル公演

はじめての上方伝統芸能SHOW vol.1

大阪は芸能の都です。

太閤秀吉が能の魅力にとりつかれ、「能を見るだけ」ではなく「能を自らやってみる」楽しみを見出して以来、大阪では「たしなむ文化」が育まれ、文楽、歌舞伎、落語、講談、浪曲、上方舞等多彩な芸能が生まれ、演じられ続けてきました。

今回はその中から、文楽の魅力を中心に、能、講談をお楽しみいただきます。

公演には、はじめてご覧になる方にもわかりやすいワークショップもあります。また、会場となる大阪歴史博物館では、文楽の昭和初期の貴重なポスターやかしらもご覧いただける特別企画展が開催されています。

どうぞみなさま、この機会に大阪が世界に誇る上方伝統芸能の魅力をたっぷりとお楽しみください。

プログラム

13:30	開場（お並び頂いた順にご入場いただきます。）
14:00	文楽「一谷嫩軍記（いちのたにふたばぐんき）熊谷陣屋（くまがいじんや）の段（だん）より」 太夫：豊竹靖太夫　三味線：竹澤宗助　人形：吉田玉男　他
14:30	上方伝統芸能レクチャー　～能・文楽・講談ってなに？～ 新作講談「敦盛（あつもり）の最期（さいご）」　旭堂南海
15:10	能のワークショップ
15:40	半能「敦盛（あつもり）」　林本大 他
16:00	終演

料　金　一般前売 2,000円　一般当日 2,500円（全席自由）

チケット取扱い・お問い合わせ　公益財団法人 山本能楽堂

ホームページ http://noh-theater.com　電話 06-6943-9454

ニッポン画家・山本太郎氏による「折りたたみ鏡板　影向の松図」が、この公演で初披露されます。古典芸能と現代アートのコラボレーションをお楽しみ下さい。

《山本太郎　略歴》

1974年熊本生まれ。2000年京都造形芸術大学卒業。秋田公立美術大学准教授。

1999年に日本画ならぬ「ニッポン画」を提唱。日本の古典絵画と現代の風俗が融合した絵画を描き始める。近年は企業等と積極的にコミッションワークを行いキャラクターを使用した作品も多数制作している。その作風は現代の琳派とも評される。2015年 京都府文化賞奨励賞受賞。

協力：京都造形芸術大学　ウルトラファクトリー

会場　大阪歴史博物館 4階 講堂

〒540-0008 大阪市中央区大手前4丁目1-32

電話 06-6946-5728　FAX 06-6946-2662

［アクセス］

地下鉄谷町線・中央線「谷町四丁目」駅 ②号・⑨号出口

大阪市営バス「馬場町」バス停前

http://www.mus-his.city.osaka.jp/

主催：大阪市　　共催：大阪歴史博物館　　受託者：公益財団法人 山本能楽堂

平成29年度伝統芸能を活用した大阪の魅力開発促進のためのモデル公演とは…

この公演は、通常の公演とは違い、2020年東京オリンピック・パラリンピックを見すえ、"大阪ならでは"の伝統芸能を初心者の方や国内外の観光客の方に広く知っていただくためのモデルとして実施するものです。

公演当日開催中

特別企画展「世界に誇る大阪の遺産　－文楽と朝鮮通信使－」

平成29年9月30日（土）～11月26日（日）※火曜日休館

会場：大阪歴史博物館 6階 特別展示室

［開館時間］午前9時30分～午後5時　※入館は閉館の30分前まで

［観 覧 料］常設展示観覧料でご覧になれます。

大人 600円（540円）、高校生・大学生400円（360円）

※（ ）内は20名以上の団体割引料金

※中学生以下・大阪市内在住の65歳以上（要証明証提示）の方、障がい者手帳等をお持ちの方（介護者1名を含む）は無料

主催：大阪歴史博物館

共催：駐大阪大韓民国総領事館 韓国文化院（朝鮮通信使）

平成29年度伝統芸能を活用した大阪の魅力開発促進のためのモデル公演

はじめての上方伝統芸能SHOW vol.1

人形浄瑠璃ポスター　四ツ橋文楽座
（大阪歴史博物館蔵）
公演当日開催中の特別企画展にて展示

平成29年（2017年）

10月5日［木］14:00～16:00（開場 13:30）

大阪歴史博物館 4階 講堂

〒540-0008 大阪市中央区大手前4丁目1-32
地下鉄谷町線・中央線「谷町四丁目」駅 ②号・⑨号出口
大阪市営バス「馬場町」バス停前

主催：大阪市　共催：大阪歴史博物館　受託者：公益財団法人 山本能楽堂